

コロンビア デジタルガバンメント戦略 9月

VE センター

1. 背景

・基本データ：コロンビア共和国 República de Colombia - [ジェトロ \(jetro.go.jp\)](http://jetro.go.jp)

国土：1,141,748 平方キロメートル(日本の約3倍) 出所：アグスティン・コダシ地理院

人口：5,105 万人(2021 年予測値)(日本の約3分の1) 出所：コロンビア国家統計(DANE)

政治体制：立憲共和制

公用語：スペイン語

一人当たり名目GDP：6508(ドル)(日本：40847(ドル)(2019 年)

GDP(名目)：327.9(10 億ドル)(約 1.6 兆億円)(2019 年)

[国連の世界幸福度ランキング 2021 年版](#)：55 位(95 ヶ国中)

[E-Government Development Index\(EGDI2020 年\)](#)：67 位(193 ヶ国中)

[OECD Digital Government Index \(DGI\): 2019](#)：3 位(34 ヶ国中)

コロンビア共和国([スペイン語](#): República de Colombia)、通称コロンビアは、[南アメリカ](#)北西に位置する共和制国家。

東に[ベネズエラ](#)、南東に[ブラジル](#)、南にペール、南西に[エクアドル](#)、北西に[パナマ](#)と国境を接しており、北は[カリブ海](#)、西は[太平洋](#)に面している。

首都は[ボゴタ](#)。コロンビアは非常に多様な文化、民族を持つ国であり、[ヨーロッパ](#)の入植者、[アフリカ](#)人の奴隷、[先住民族](#)が混在している。[ヨーロッパ](#)、[中東](#)、[アジア](#)からの移民が 19 世紀と 20 世紀に受け入れられた^[3]。

2016 年に [FARC](#) との和平合意が成立して以来、[Facebook](#)、[Google](#)、[マイクロソフト](#)などが相次いで進出して、2007~12 年に同国の IT([情報技術](#))産業は 177%成長し、68 億ドル規模となった^[31]。

2.戦略 1.デジタルガバンメント体制づくり(2018-2022)

紙の行政システムをデジタルの行政システムにする。

[Por la cual se expide el Plan Nacional de Desarrollo 2018 – 2022](#)

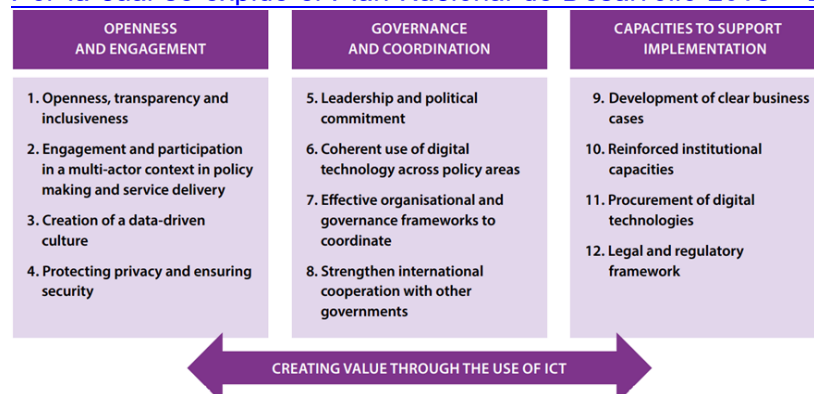


図 1 デジタルガバンメント戦略

OECD の提案を受けてコロンビア政府は [toolkit](#) を使って、e-Government から Digital Government へと移行する世界で最初の事例を図 1 のように実施する。

[Digital Government Review of Colombia](#)

戦略目的 1. 透明のある性のある参加と協力

1. 開放性、透明性、そして 参加性
2. エンゲージメントと参加 政策決定とサービス提供におけるマルチアクターの 政策立案とサービスの提供
3. データ駆動型文化の創造 文化の創造
4. プライバシーの保護とセキュリティの確保 セキュリティ

戦略目的 2. ガバナンスとコーディネーション

5. リーダシップと政治的コミットメント
6. 政策分野を超えたデジタル技術の一貫した利用
7. 共同のための効果的な組織とガバナンスの枠組み
8. 他国政府との国際協力の強化

戦略目的 3. 開発支援環境

9. 明確なビジネス事例の開発
10. 制度的能力の強化
11. デジタル技術の調達
12. 法律および規制の枠組み

麻薬産業撲滅は、麻薬の流入に苦しむ米国と [Integrated Country Strategy](#) (2018–2022) を協働で実施する。

2. 戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価 (2018–2020)

開発方針のチェック

世界の他の国々と比べて変革のペースが遅い；

[電子政府発展指数 \(EGDI\)](#): 2010 年 31 → 2018 年 61 位

[デジタル競争力指数](#): 2014 年 49 位 → 2019 年 58 位

しかし、[OECD は 2019 年のデジタル・ガバナメントでコロンビアを世界 3 位に評価した。](#)

この [2019 Digital Government Index \(DGI\)](#) でコロンビアが最も優れていたのは最後の 2 つのカテゴリーで、それぞれ User-driven (1 位) と Proactive (2 位) であった。

3. 戦略 3: オープンデータの活用を図る (2020–2022)

[デジタルガバナメントで出来る膨大なデータを定型データ化し、活用する。](#)

[Voluntary National Review 2021](#)

1) 2016 年、コロンビアは [第 1 回自主国別報告書 \(RNV\)](#) を発表し、[SDGs](#) の実施に対するコミットメントを批准するとともに、同国における 2030 アジェンダの達成に関連する制度的ガバナンスを国際社会に提示した。

2) 2018 年、第 2 回目の RNV では、公共政策の枠組み

[コロンビアにおける持続可能な開発目標 \(SDGs\) の実施のための戦略](#) の策定に伴い、

SDGs の実施における進捗状況が提示した。2030 年に向けた国のロードマップを構成する文書 [CONPES 3918](#) では、モニタリングと報告、情報の利用可能性、領土戦略、他の非政府アクターの関与と資金調達の戦略という 4 つの行動指針が示した。

3) 2013 年、[第 3 回 RNV](#) は、国家政策としての SDGs へのコミットメントを再確認することに加え COVID-19 の大流行に直面した後、「行動の 10 年」の呼びかけと、復興に向けて包括的かつ弾力的で持続可能な方法で前進するという信念が収束しつつある現状において、バランスを取ることを目的としている。SDGs 全体の進捗率は、2020 年 12 月開始として、国が設定した

目標に沿って 72.1%となっている。

これらの進展は、コロンビア国民全体の生活環境を改善するための国家的な努力と、目標を具体化するためのコミットメントの賜物である。

[United Nations Millennium Development Goals \(MDGs\)](#)

[持続可能な開発目標\(SDGs: Sustainable Development Goals \)](#)

4. 戦略 4: データのAI利用 (2019-2030)

オープンデータを AI に読み込む。

人工知能(AI)が効果的に社会の変化をもたらすために、以下のようなデジタルトランスフォーメーション(DX)環境を整える；

[スマートシティの開発と教育センターの建設という 2 つのプログラムに約 10 億ドルを投資する。](#)

AI 戦略

[ARTIFICIAL INTELLIGENCE NATIONAL STRATEGY\(2019-\)](#)

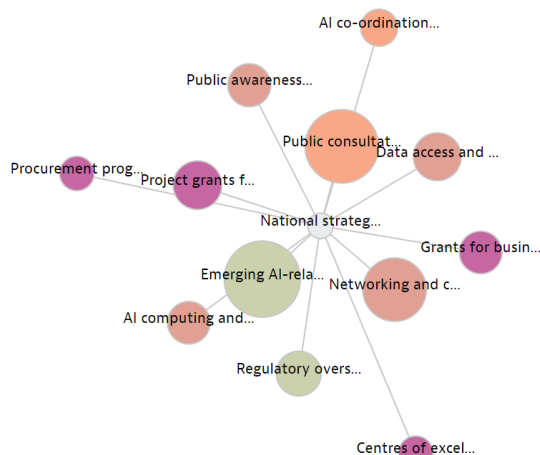


図 2 [AI 政策手段関連図](#)

ネットワークの中心に近い政策手段は、同じ政策テーマに取り組むために国家戦略、アジェンダ、計画と共同で使用されることが多いことを示す。バブルの大きさは、その政策手段を使用しているイニシアチブの数に比例する。マウスで円にカーソルを合わせると、ツールチップに政策手段の名前とそれを使用しているイニシアチブの数が表示する。政策手段をクリックすると、対応するダッシュボードに移動することができる。

この図の利用はここから図 2.[AI 政策手段関連図](#)。

ビジョン: AI の開発を可能にする社会経済的条件を生み出す。

戦略目的:

1. 責任ある包括的な AI 開発のための倫理的枠組みを構築する。
2. AI 開発の柱としてデータの活用を図る
3. AI を活用して生産性と競争力のある人市場を確立する。

戦略目標

- 1) 民間企業におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の導入と活用に取り組むために、文化の欠如や無知に関連する障壁を削減する。

- 2) ビジネス生産性の主要要素に DX を導入するための規制や制度の調整を行う。
- 3) デジタルガバナメント政策のパフォーマンスを向上させ、公共部門における DX の導入と活用に対応する。
- 4) イノベーションのための国際的な提携を行う。
- 5) 起業家精神と DX を促進するための運動を設計・実行する。
- 6) 公共部門における ICT ベースのイノベーションを促進する。
- 7) DX に支えられたインパクトのあるイニシアティブを実行する。
- 8) 技術的変革の課題に対応して、教育の過程でデジタルスキルを身につけるための条件をえる。
- 9) [4RI\(第四次産業革命\)](#) または [インダストリー1.0](#) の機会と課題を活用するために、教育コミュニティと新興技術との相互作用を強化するためのスキルとコンピテンシーを開発する。
- 10) 社会的・経済的発展を促すための革新的文化の活用を目的としたイノベーションエコシステムの構築。
- 11) 人材育成のための国際提携
- 12) 4RI のコンピテンシー開発に貢献する、AI を優先した教育の準備。
- 13) コロンビアにおける AI の開発を促進するための条件を整える。
- 14) コロンビアにおける 4RI のためのデジタル技術の開発を促進する。

5. 戦略 5: 5G-デジタル経済推進に向けた通信インフラ(2020-2030)

いつでも、誰でも、どこでも使える AI 社会基盤の作成

[5G 戦略](#)

- 1) 2019 年 12 月 5 日、[情報通信省\(Min. ICT\)](#)は、5G の展開と運用に対する規制上の障壁を特定し、5G テストを試験的に行うことを目的とした「[5G 採用のための行動計画](#)」を開始した。
- 2) 2020 年 9 月 1 日、政府はパイロットを開始し、参加者に 5G 技術をテストするための一時的な許可を与えた。参加者は、Empresa de Telecomunicaciones de Bogotá、Colombia Telecomunicaciones、Comunicación Celular Comcel、Xiro Investment Group、ITICS である。現在、コロンビアの大部分の地域では 4G サービスが提供されており、周波数のオークションによって 2G サービスを停止する計画がある。
- 3) 2021 年の第 3 四半期までに 3.5MHz 帯を獲得する計画である。

6. 戦略 6: Covid-19 に対応(2020-)

コロナの緊急事態が AI との共生社会を開発する

[Supporting Colombia's COVID-19 Crisis Response](#)

コロンビアでは人口の半分近くが貧困状態にあり、その格差は新型コロナウイルスのパンデミックによって加速している。政府の税制改革案は、所得税の対象となる給与の下限を毎月 260 万ペソ(約 7 万 5000 円)に引き下げるというもの。低所得者はさらに所得が下がると反対し暴動の原因となった。イヴァン・ドゥケ大統領は 2021 年 5 月 2 日、この改革案を取り下げると発表した。抗議の波は収まっていない。

コロンビアの DG の特徴

1. デジタルガバナメントの世界最初の事例(OECD と協働)

[Digital Government Review of Colombia](#)

2. 豊富な資源を活用して産業を興し、格差是正を図る（UN+世界銀行と協働）
3. [United Nations Millennium Development Goals \(MDGs\)](#)
4. 麻薬産業を撲滅する（米国と協働）
[Integrated Country Strategy Colombia](#)